

(一財)食品産業センター 環境委員会 NEWS

No.60

平成28年9月30日発行

<http://www.shokusan.or.jp/kankyo/committee/index.html>

(一財)食品産業センター環境委員会 事務局 加藤・渡邊

TEL:03-3224-2384/FAX:03-3224-2398

Mail : m-kato@shokusan.or.jp

=====

賛助会員各位

日頃より(一財)食品産業センター 環境委員会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

配信記事

1. 農林水産省補助事業「食品産業における未利用熱の有効活用セミナー」参加募集のご案内について

(一社)日本有機資源協会では、「食品産業における未利用熱の有効活用セミナー」の参加募集のご案内をしております。(添付ご案内を参照)

COP21のパリ協定を受け、日本は2030年度の温室効果ガスを2013年比で26%削減することに向けた取組を具体化していくことが求められており、国の長期エネルギー需給見通しでは、部門ごとの積み上げにより約5,030万kLの省エネを見込んでいます。

このような中で、食品産業における温暖化対策の中でも特に「熱」に焦点を当て、その中でもコージェネレーション及びヒートポンプ導入に関して、大規模事業者のみならず、中小規模事業者も自社等で行えるような事例、方法や対策、効果、ヒントなどの情報提供を行うセミナーを全国4地域（仙台、金沢、名古屋、東京）で開催いたします。また、実態調査の結果を取りまとめた普及啓発資料（テキスト）を作成し、セミナーで配布いたします。なお、セミナーの講演者へのご質問を事前に受付しています。

食品事業者以外の方でもお申込みできますので、ご興味やご関心がある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※農林水産省では食品廃棄物の不適正な転売事案の発生を受け、食品循環資源の再生利用等の確かな実施の確保のための食品関連事業者が取り組むべき措置の指針（判断基準省令）について審議会で審議を行い、答申案をとりまとめたところです。今回のセミナーでは、食品関連事業者が取り組むべき措置の指針（判断基準省令）の見直しや食品関連事業者へのガイドラインについて農林水産省の担当者より説明を行いますので、開催地域の方々には是非参加いただきますようお願いいたします。

※添付の「参加申込書」でお申し込みください。

※環境委員ニュースは、メール又はFAXで配信しています。FAX版は、添付資料等により送付数が多くなることや、内容を当方より指定させていただいたURLにて別途ご確認をお願いすることがございます。そのため、出来るだけメール配信といたしたく考えます。現在、FAXで配信させていただいている方で、メール配信にご変更いただける方は、事務局までご連絡をお願いします。

**「食品産業における未利用熱の有効活用セミナー」**

COP21のパリ協定を受け、日本は2030年度の温室効果ガスを2013年比で26%削減することに向けた取組を具体化していくことが求められており、国の長期エネルギー需給見通しでは、部門ごとの積み上げにより約5,030万kLの省エネを見込んでいます。このような中で、食品産業における温暖化対策の中でも特に「熱」に焦点を当て、その中でもコージェネレーション及びヒートポンプ導入に関して、大規模事業者のみならず、中小規模事業者も自社等で行えるような事例、方法や対策、効果、ヒントなどの情報提供を行うセミナーを全国4地域(仙台、金沢、名古屋、東京)で開催いたします。また、**実態調査の結果を取りまとめた普及啓発資料(テキスト)を作成し、セミナーで配布いたします。**なお、セミナーの講演者へのご質問を事前に受付しています。

食品事業者以外の方でもお申込みできますので、ご興味やご関心がある皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日	場所	定員	会場
平成28年 10月21日(金)	金沢	60名	TKP金沢駅前カンファレンスセンター 5階 カンファレンス5B (金沢駅西口より 徒歩約5分)
平成28年 11月 2日(水)	仙台	50名	仙都会館 会議室 5階A (JR仙台駅より 徒歩約5分)
平成28年 11月 9日(水)	名古屋	80名	愛知県産業労働センター WING AICHI(ウインクあいち)11階 1104 (名古屋駅より 徒歩約5分)
平成28年 11月14日(月)	東京	180名	ビジョンセンター東京 4階 401 (JR東京駅八重洲南口より 約徒歩2分)

～ プログラム ～

13:30 - 13:35 **1. 挨拶** 農林水産関連企業環境対策協議会 (共催)

13:35 - 13:50 **2. 食品関連産業の環境を取り巻く状況(仮題)**

COP21、長期エネルギー需給見通し、事業者の定期報告の必要性やランク付け等
農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室

13:50 - 14:20 **3. 店舗での熱の制御と利用について**

熱のエネルギーの有効性・必要性についての気づき

(一社)日本フードサービス協会 環境委員会 委員 高橋 一伸 氏

14:20 - 15:00 **4. 調査報告・情報提供(仮題)**

ヒートポンプ及びコージェネの導入設備メーカー等や食品関連事業者への導入実態調査結果報告、今後の課題、解決策のヒント、省エネに係る支援措置など

(株)エックス都市研究所 環境エンジニアリング事業本部 戦略的バイオマスチーム

15:00 - 15:15 休憩

15:15 - 15:45 **5. ヒートポンプを活用した食品工場の省エネ・省コスト手法**

ヒートポンプとは、低温の熱源から熱を吸収し、高温の熱源を加熱する装置で、暖房や溶液の濃縮、乾燥などの目的に用いられ、ヒートポンプを導入することでの省エネ効果やメリット等を紹介

(一社)日本エレクトロヒートセンター

15:45 - 16:15 **6. 食品事業者における導入事例・省エネ環境対策**

<金 沢> **『食品工場なら何処でも出来る排熱有効利用他(仮題)』** (ヒートポンプ導入事例)
味の素冷凍食品(株)

<仙 台> **『「びっくりドンキー」店舗と工場における導入事例と環境対策について(仮題)』**
(株)アレフ エコチーム 恵庭事務所 渡邊 大介 氏 (コージェネ及びヒートポンプ導入事例)

<名古屋> **『環境にやさしい工場への取組(仮題)』** (コージェネ及びヒートポンプ導入事例)
不二製油(株) 安全環境部 砂川 昭二 氏

『地域で取り組むCO₂削減対策(仮題)』 (コージェネ導入事例)

<東 京> ①東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株) 産業エネルギーサービス部 開発営業グループ 副部長 和田 隼人 氏
②(株)J-オイルミルズ
③横浜市 温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課長 岡崎 修司 氏

16:15 - 16:35 **7. 質疑応答**

16:35 - 16:50 **8. その他(食品廃棄物の不正転売防止策について)**

農林水産省食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室

発表・講演内容に関する質問や要望を事前にお受けします！

※ プログラムと講演時間が多少変更になる場合もありますので、予めご了承ください。

※ プログラムと時間については、一般社団法人日本有機資源協会のホームページにてご確認をお願い致します。

